

平成22年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	受付月日	6.11	通告者	17番	尾口好昭
1番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<p>風致維持向上計画の策定について</p> <p>(1) 市川字奏社地内鎮座する総社の宮は延喜式内100社を合祀していると本市発行する記事等に紹介されるが、陸奥国総社及び式内社と登載する文献名を詳解されたい。</p> <p>(2) 認定の実現性について伺う。</p>				
2	<p>第5次長期総合計画策定の説明会（H22.5.31）から</p> <p>施策評価で「見える化」と表現。総合計画案の決定まで約2ヶ月半となった。</p> <p>(1) 持続可能な都市については、既に市長の見解がある。上位計画書であるので、100事業の目標設定値を伺う。</p>				

質問順	受付月日	6.10	通告者	18番	昌浦泰巳
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	<p>妊婦検診の項目に成人T細胞白血病の抗体検査の導入、完全実施について</p> <p>(1) 妊婦検診の項目に成人T細胞白血病の抗体検査を導入し、完全実施する考えはお有りか。</p> <p>(2) すでに実行されておられるとは存じますが、抗体検査で陽性が出た妊婦に関しては万全の指導を実施されたい。</p>				

質問順	受付月日	6.11	通告者	5番	米澤まき子
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<p>多賀城に発達支援センターの早期設置について</p> <p>近年、発達障がいの子どもの数が増えています。普通学級在籍者で6%余り、支援学級や支援学校の子どもの数を含めて10%余りいると言われています。多賀城市に相談療育をしてくれる専門家が常時いる発達支援センターが作られることは、大変意義深いことです。親はもちろん、子どもに関わる全ての人にとって必要性の高い頼もしい存在になります。</p>				

2	唯一予防できる子宮頸がんの予防について
	<p>厚生労働省の調査で、年間の死亡者は約3千人に及ぶと言われている。10代前半の接種が望ましいとされているが高額で医療保険の適用にならないため、経済的負担が大きい。検診や予防ワクチンで100%予防可能なため、市独自の財源で推進してはどうか。</p> <p>(1) 学校での集団接種の実施について</p> <p>(2) 市独自の財源による助成について</p> <p>(3) 細胞検査とHPV検査の併用について</p>

質問順	受付月日	6.11	通告者	10番	藤原益栄
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	学童保育について				
	多賀城小学校の留守家庭児童学級の過密状態解消の取り組みと見通しを問う。				
2	駅南広場について				
	駅南広場が手狭と感じている。この際拡張を検討されてはいかがか。				
3	工業団地化構想について				
	<p>(1) 市当局は工業団地造成の手法として組合の区画整理事業がベターとの考えを示してきた。地権者の方々から理解をいただいているか。</p> <p>(2) オーダーメイド方式で造成していた亘理町の工業団地へ進出を予定していた企業が突然撤回する事態が発生した。市当局としては、どのように分析され教訓化しているか。</p>				
4	水道事業について				
	<p>(1) 水道事業資本費平準化債について、市長は本年の予算委員会で「勉強してみたい」と答えた。現時点において、その効能をどのように理解しておられるか。</p> <p>(2) 市長は議会に説明した以外に設備投資計画があるとお考えか。</p>				

質問順	受付月日	6.11	通告者	9番	板橋恵一
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	防災行政無線の整備について				
	(1) 地震や津波などの災害情報を迅速に住民に伝える体制の整備現況についてお伺いします。				

	(2) 全国瞬時警報システム（Ｊアラート）の導入についてお伺いします。 (3) 塩釜地区消防事務組合等の防災行政無線システムのアナログ方式からデジタル方式への更新についてお伺いします。
2	二市三町の広域防災体制について (1) 広域防災体制の取り組みについてお伺いします。 (2) 広域防災体制と海路輸送の活用についてお伺いします。
3	全国都市のサステナブル度評価について 全国の市区を対象に環境保全度、経済の豊かさ度、社会安定度のサステナブル度の調査結果についてお伺いします。
4	水道管の整備について 鉛管使用の給水装置布設替えの対策についてお伺いします。

質問順	受付月日	6.11	通告者	8番	雨森修一
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	多賀城駅前公園広場について JR仙石線多賀城駅前連続立体交差事業、駅周辺区画整理事業も数年後の完成を迎えての記念事業として、現在公園内に設置されている時計台の建て替えを行い、ニュー多賀城駅前のシンボルを造り後世に伝える事と考えるが、市長の見解を伺う。				
2	多賀城駅周辺の防犯対策として 1日に、約15,000人の乗降客と言われている多賀城駅の安心、安全、犯罪防止を担う対策として、駅周辺に防犯カメラの設置が望まれる。市長の見解を伺う。				

質問順	受付月日	6.11	通告者	8番	柳原清
7番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	小中学新一年生へ体育着支給 利府町では小学校・中学校新一年生に体育着を支給している。当市でも支給されたい。				
2	小中学生への教材費、部活動費助成 利府町では小学校・中学校の生徒の教材費、部活動費の補助を実施している。当市でも実施されたい。				
3	子供の医療費助成拡大				

	当市の子供の医療費助成は、現在小学校入学前までだが、同助成制度の更なるかさ上げを図りたい。
4	<p>非核平和都市宣言について</p> <p>3月には大崎市が非核平和宣言をし、5月にニューヨークで開催されたNPT再検討会議は大きな成果を挙げ、世界的に核廃絶への気運が高まっている。当市でも非核平和宣言をされたい。</p>
5	<p>国民健康保険短期証、資格書発行について</p> <p>国民健康保険の短期証の窓口留め置きは止め、郵送されたい。また資格書の発行は中止されたい。</p>

質問順	受付月日	6.11	通告者	19番	阿部 五一
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	高齢者福祉政策について				
	<p>(1) 市の施設や行事等に使用している「老人」という名称を高齢者の経験と可能性を生かすような名称に変えること。</p> <p>(2) 高齢者の第二の人生を祝う記念行事を設けること。</p> <p>(3) シルバーヘルスプラザ（旧老人福祉センター）を西部地区に増設すること。</p>				

質問順	受付月日	6.11	通告者	7番	森 長一郎
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	水道事業について				
	<p>市の「安心・安全」な水供給の設備対策について</p> <p>(1) 市の水道管耐震化率等、耐震適合性等状況を伺うとともに、その対策、計画等を問う。</p> <p>(2) 問題になっている鉛管の見直しについての状況を伺うとともに、その対策、計画等を問う。</p>				
2	AEDの設置促進について				
	<p>ハートエイドを推進し、市民の救命効果の向上を図ってはいかがが、見解を伺う。</p>				
3	防犯灯、街路灯について				
	<p>省電力化事業の一環として、コンパクト型蛍光灯やLED市街灯の導入を考えてはいかがが、見解を伺う。</p>				

4	発達相談支援センターについて		
	仙台市では、(仮称)南部アーチル建設が進んでいる。市も、一市三町に働きかけ同様の施設建設の推進をされたい。		

質問順 10番	受付月日 6.9	通告者 13番	吉田 瑞生
	答弁者 教育長	発言時間	30分
	陸上自衛隊多賀城駐屯地内に現存する多賀城海軍工廠跡の建物等を、多賀城市指定の文化財とすることについて		
	多賀城駐屯地内に現存する、戦時中の昭和17年(1942年)10月30日に開庁した(工廠令上の開庁は、昭和18年10月1日です。)、多賀城海軍工廠火工部の建物、土塁・通用トンネルを、多賀城市指定文化財に指定し、保存に必要な措置を講じ、文化的向上に資するよう図ることについて。		

質問順 11番	受付月日 6.11	通告者 16番	根本 朝 栄
	答弁者 市長・教育長	発言時間	30分
1	心身障害者医療費助成制度の改善について		
	「心身障害者医療費助成制度」は、障害者の皆様の経済的負担軽減施策として大変重要であるが、支給方法が償還払いとなっており、退院時に一時的に医療費を用意するのが困難となっていることから、福島市、伊達市、二本松市のように現物給付にして更なる負担軽減策を講じてはいかがか。		
2	本市独自の経済対策について		
	国の住宅版エコポイントと連動し、秋田県では住宅緊急支援事業がスタートし、県内の業者が施工した住宅の改修やリフォームに補助金を出しており、県内の各市町村でもそれに上乗せした形で助成を行っているが、本市においても「市内の業者が施工」した新築や改修に補助金を出し経済対策を実施してはいかがか。		
3	アレルギー対策について		
	年々、アレルギーの子どもたちが増加していることに鑑み、学校給食センターにおいてアレルギー対応の給食を整備すべきと考えるがいかがか。		

質問順	受付月日	6.11	通告者	2番	佐藤恵子
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	住宅リフォーム助成制度創設について				
	(1) 住宅リフォーム助成制度が全国に広がっている。現在、実施しているのは30都道府県154自治体、東北でも6県43自治体で制度が設けられ成果をあげている。本市においても実施されたい。				
2	妊婦健診14回受診のための助成継続について				
	(1) H21から2年限定で施行されている妊婦健診の助成(14回分)が今年度で終了する。来年度も引き続き実施するよう、国に強く求めるべき。				
	(2) 国の実施が見込めない時は市独自でも工夫すべきと考えるがいかがか。				
3	市立図書館の整備について				
	(1) 蔵書が増え小学校の図書室等を保管場所としている。本を良好な状態で保存するために、早急に書庫を整備すべきである。書庫として移動図書館車の車庫を利用されたい。				
	(2) 司書を専門職として採用されたい。				
4	ワクチンの公費助成について				
	(1) H21第4回定例会で一般質問をしたが(高齢者の肺炎細菌予防ワクチン、子供の細菌性ずい炎)、その後の検討は?				
	(2) また、唯一予防できるといわれている子宮頸がんワクチンの公費助成も推進すべきと思うがいかがか。				

質問順	受付月日	6.11	通告者	6番	金野次男
13番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	大規模災害について				
	平成22年度多賀城市総合防災訓練(5年に一度)において、2月のチリ大地震津波の教訓を生かした本訓練の成果と、必ず来襲する宮城県沖地震(避難所)対応について伺う。				
2	中小企業雇用対策について				
	行政発注公共工事の本市最低制限価格の設定水準と、発注した公共工事(19~21年度)のうち市内業者が受注した割合について伺う。				

3	青少年健全育成について
	<p>(1) 平成24年度から武道が必修化、全ての中学一・二年生が対象、必修化に向けた条件整備として、①施設対応、②指導者対応、③用具対応を具体的に伺う。</p> <p>(2) 文部科学省、学校づくり交付金を活用して第二中学校に弓道場を新設するべきではないか。</p>
4	市営住宅事業について
	<p>現在の市営住宅窓口（修繕・苦情等）は市民はわかりにくい。簡素化し市民への対応を考えるべきではないか。</p>

質問順	受付月日	6.9	通告者	14番	相澤耀司
14番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	「ふれあい訪問事業」高齢者ごみ収集対策について				
	福島市では、高齢者に対して希望する方にごみの訪問収集をしているが、多賀城市においても実施すべきではないか。				
2	地方分権一括法の問題点について				
	平成12年から施行された「地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律」の運用に当たり、多賀城市では、どのような効果や実績があったか、また問題点は何かを伺う。				